

11.12

全学緊急 抗議行動

大学に
公安警察は立入禁止

11月4日、学生の政治活動・表現活動を監視・弾圧するために繰り返し京都大学構内に侵入していた公安警察（京都府警警備2課所属）のスパイ行為が摘発され、学生・職員が追及し、学内から追放する事態となりました。しかし、京都府警は事の本質を転倒させ「逮捕・監禁事件」として学生・職員へのさらなる弾圧を画策しています。

今回の弾圧は、改憲と戦争に突き進む安倍政権が、その障害となる大学の自治と自由を解体し、戦争体制に組み敷こうとする情勢の中で起きています。11月2日、東京で開催された安倍政権打倒の集会・デモ行進においても、3人の学生（うち京大生2人）が不当逮捕され、今も勾留され続けています。絶対に許すことはできません。

きたる11月12日、不当逮捕された3人の即時釈放をかちとり、公安警察による大学自治の破壊を弾劾するために緊急行動（下記に要項）を開催します。京大生・職員はもとより、この弾圧に怒るすべての人に、11・12全学緊急抗議行動への参加を呼びかけます。

<11/12全学緊急抗議行動 要項>

◆12時～ 抗議集会

@時計台・クスノキ前

◆18時半～ 討論集会

@文学部新館・第3講義室

講演「大学自治と戦争」

鈴木たつお

(法政大学暴処法弾圧裁判 弁護団長)



地図上の「★」印が時計台・クスノキ前広場
「□」印が文学部新館第3講義室です。

11・12抗議行動 実行委員会

連絡先：京都大学全学自治会同学会（中執）

dougakukai.kyoto@gmail.com

dougakukai.blog.fc2.com 090-3941-8149(作)

公安警察を京大から追放した！

11月4日の昼休み、私たち京都大学全学自治会同学会・中央執行委員会（以下、同学会中執）の宣伝活動を監視していた公安警察を学生有志が取り押さえ、杉万副学長を含む京大職員と共に抗議・追及し、学内からたたき出しました。この公安警察は「京大に通告なく学内に入ってはいけない」という協定を踏み破って学内に侵入し、日常的に同学会中執の活動を監視していました。この「京大公安事件」は社会的に大きなニュースとなり、「大学自治」をめぐる激論を呼び起こしています。「学問の自由」と「大学自治」を学生自らの意志と行動で守り抜いた今回の行動は誇るべきことであり、公安警察の侵入・監視にはなんらの正当性もありません。

学生を黙らせるための許しがたい弾圧

イラク・シリアをはじめとした世界的な戦争の勃発と、安倍政権による「集団的自衛権」行使を容認する閣議決定（7月1日）を受け「大学の戦争協力」が今、社会的な焦点となっています。

奨学金滞納者を自衛隊に送るという「経済的徴兵制」の導入や、防衛省と大学の軍事研究拡大が目論まれ、「グローバル人材育成」という名の管理教育によって、学生の日常が戦争への動員体制になっています。このことに危機感を覚え、同学会中執は後期開講から「大学の戦争協力阻止・安倍政権打倒」を掲げ「学生は団結して闘おう」と訴えてきました。「10・15この国のために死んでたまるか！ 京大集会」を行い、「10・21国際反戦デー@東京」では全国の闘う学生自治会や労働組合と連帯して戦争反対の活動に取り組んできました。

今回追放された公安警察は、私たちが「大学の戦争協力拒否」を訴えはじめた後期開講から構内を徘徊し、何度もその不審な動向を確認されてきました。そして11月2日に行われた、全国労働者総決起集会において、京大生2名を含む3名の学生が「公務執行妨害」をでっちあげられ、不当にも逮捕されました。

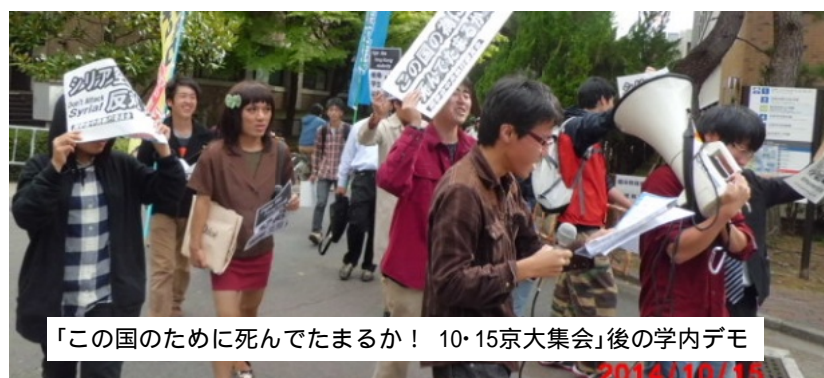


「戦争と民営化反対」の11・2労働者集会に世界中の闘う労働組合が結集！

公安警察は同学会の活動を日常的に監視し、京都大学の中から学生が戦争反対を掲げて立ち上がっていることの情報を集め、弾圧の機会をずっと狙っていたのです。3名の学生を獄に送ったのは、まさしく今回追放された公安警察です。

私たち同学会がやってきたことは何だったでしょうか。学生が集まって真剣に議論し、今の大学と社会に対して、団結して声を上げていく。ただそれだけです。しかしそのことが、今の安倍政権の下では監視の対象、逮捕・弾圧の対象となっています。大学における戦争協力の最大の要は、学生に恐怖を植えつけ、声を上げさせないための、日常的な弾圧体制の構築です。

戦前の大学における戦争動員も「京都学連事件」（1925～26年）による学生自治破壊の弾圧から本格的に始まり、最後は学徒動



「この国のために死んでたまるか！ 10・15京大集会」後の学内デモ

員へと行き着きました。私たちの先輩たちは自身の夢を奪われ、アジアの人々をはじめとした他国の人々と殺しあわされたのです。私たちはこのような歴史を二度と繰り返さない。そのために、公安警察による学生弾圧を絶対に許さず闘います。

11・12行動に結集し3学生取り戻そう！

公安警察による監視・弾圧は、学生の団結した行動が今の社会を変え得る力をもっていることを為政者たちが確信し、恐れていることの証明です。事実、2012年に3000人の投票で再建された全学自治会同学会をはじめとする京大生・職員は、国立大学協会会長として「大学改革」を率先推進し、大学自治を破壊しようとしてきた松本紘・前総長と真っ向から対決し、総長選挙制度改悪などを実力で阻止してきました。この中で、原発利権にまみれた関西電力元社長・藤洋作や、安倍政権のブレーンであるJR東海名誉会長・葛西敬之らも松本総長ともども京大経営協議会から叩き出してきました。自身の政策がごとく現場から覆される中で、安倍政権は焦りに駆られ、公安警察を使つての暴力的弾圧へと訴えたのです。

しかしこの弾圧は、私たち学生が臆することなく立ち向かうことで、安倍政権とそれが使役する国家暴力の不正義性を世に知らしめる機会へと転じています。学生の団結は公安警察による弾圧も、安倍政権の戦争と大学自治破壊も阻止できます。

私たちは、共に闘ってきた3名の学生に対する不当逮捕を絶対に許しません。11月12日、「京都府警は謝罪しろ！ 3名の学生を今すぐ釈放しろ！」を掲げ、緊急の抗議行動をおこないます。ここに今の時代を考えるすべての学生に集まってほしい。二度とこのようなことを起こさせないために。学生が堂々と未来を語れるように。学生にはその力があります。確信を持って、議論と行動を開始しよう！

全京大生は「11・12全学緊急抗議行動」に集まり、社会全体に責任を取る勢力として、全学自治会同学会をつくり上げよう！

